

2月20日(月)

わたしを覚えて、これを行いなさい

聖書朗読 I コリント 11:23~30

ですから、ひとりひとりが自分を吟味して、そのうえでパンを食べ、杯を飲みなさい。
I コリント 11:28

聖餐式に預かるとき、私と同じように心を落ち着かせ、キリストの死に集中できない経験をしたことがある人はいませんか。わたしは、なるべく配餐前の賛美を歌いながら、聖書の大切な聖句を開き自分の心を整えようとしています。

しかし、どうしても周りで起こっていることに意識が向いてしまうことがあります。そんな時、弟子たちに語られたイエス様の言葉に集中できるよう、神様に助けを求めます。私の気が散る理由でもある周りにいる人もイエス様が十字架にかかられて救われた人々なのだ自分に言い聞かせます。そして、彼らも私と同じように聖餐のパンに預かるために来たのだと。今日の聖書箇所からは、イエス様が弟子たちと食事をされた様子を想像することができます。そこにいた弟子たちは、それぞれ異なった感情を抱いていました。恐怖にあるもの、信仰にあるもの、混乱しているもの、そして裏切りを考えているものなどさまざまでした。そんな彼らにイエス様は「わたしを覚えなさい」と言われました。私たちは、周りの人に犠牲を伴う愛を与える時、イエス様が払われた犠牲を覚えます。私たちの周りにいる人々は、私たちが神様の深く、広い、犠牲の愛を覚えておけるように、神様が与えられた痛烈なりマインダー、つまりイエス様がなされたことを思い起こさせて下さる人たち、プレゼントなのです。神様に集中しましょう。そして神様を覚えるとき、神様の愛があなたを満たすでしょう。

讃美歌 547

祈り 愛なる神様、あなたを賛美します。週の初めの日にあなたとあなたのひとり子イエス様と共に聖餐に預かれる恵みに感謝します。このパンとぶどう液の意味を私たちが覚えられますように。私たちがあなたとイエス様の目に相応しいものとなりますようにお助けください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ベティー・S・ベンダー
テネシー州 コロンビア

今日の日

2023年2月20日~2月26日

翻訳 浦部 言

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

2月21日(火)

親指の大切さ

聖書朗読 I コリント 12:12~26

大ぜいいる私たちも、キリストにあって一つのからだであり、ひとりひとり互いに器官なのです。
ローマ 12:5

大学生のある夏、私は学校の校庭を自走式の芝刈り機で芝刈りをしていました。いくつか重なったミスの結果、私の足の親指が機械に挟まってしまいました。ご想像の通り、とても痛かったのですが、なんと親指だけではなく全身がとても痛みました。治療をした後も絶対に親指をぶつけないように細心の注意を払いましたが、ふとした瞬間に親指をぶついたり、引っ掛けたりして、その痛いことと言ったら！人生であればほど親指に注意を払ったことはありません。そう、あの日までは親指なんて靴の先を埋めるためだけの存在でした。

私は40年ほど説教者をしていました。私は教会の「口」として注目されていました。しかし、そのことによって私が他の教会員よりも優れていることにはなりません。もし、身体の一部が怪我をしたり、無くなったりした時、全身がそれを感じます。私の親指は、私の口よりも重要でした。この経験から、脇役に見える身体の一部であっても大事な役割があるのだと気づきました。これこそが、神のからだの真実なのです。

讃美歌 II78

祈り 神様、私たちは有名な人を尊敬し前に立たせるそんな社会に生きています。どうか周りにいるそれぞれの人が持つ賜物に目を向けられない私たちをお赦しください。あなたのからだにある私たちひとりひとりがお互いを必要としていることを覚えられますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ペニー・F・ニコラス
テキサス州 オデッサ

2月22日(水)

曲がった解釈

聖書朗読 II コリント 2:1~5

あなたは熟練した者、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神にささげるよう、努め励みなさい。
II テモテ 2:15

私たちの周りどこを向いても、人々が「曲がった」解釈をしていると感じます。政治家は自分に都合の良いように物事を歪めて解釈しています。報道は核心的な情報は伝えず、私たちがある程度共感するのに必要な最低限の情報のみを伝えています。教会においても神様の言葉を自由に解釈し、述べたいことを述べています。

第二コリントの4章2節で、パウロは「恥ずべき隠された事」を捨て、そして悪巧みに歩むこと、神のことばを曲げることを拒んでいると言っています。彼は、彼と彼と共に働く人たちが真理を明らかにし、自分自身ではなく、神様を讃えるとはっきり言っています。

彼らの言葉、そして行いの全ては神様に向かい、神様に栄光をもたらすためなのです。彼らはただ謙虚なしもべなのです。私たちがパウロに倣って、神様のみ言葉をそのまま伝えることができますように。飾ることなく、シンプルに神様の意思と人間に与えられた啓示の真実を表すことができますように。

聖書全体をあるいはせめて一部分なりとも自分では理解できたと
思っている人はだれでも、聖書を理解することによって、その人が
神と隣人に対するふたつの愛を建てるどころまでいかなければなら、
まだ聖書を理解したとは言えない。
-アウグスティヌス (加藤武訳)

讃美歌 501

祈り 主よ、私たちがあなたのみ言葉の理解を日々深め、その意味と目的に忠実であることができますように。私たちが曲がった解釈をしないよう注意し、正しくみ言葉を伝えることができるようお助けください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ジャン・ノックス
テキサス州 グランベリー

2月23日(木)

とげは痛い！

聖書朗読 IIコリント 12:1~10

なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。 IIコリント 12:10

「肉体のとげ」について考えてみましょう。自分の体にもあるのでしょうか。とげはなんのためにあるのでしょうか。私は「肉体のとげ」には2種類あると思います。

1. 神が許されたもの
2. 私たちがもたらしたもの

パウロに、神様が与えられることを許された「とげ」は、彼が素晴らしい啓示をするがゆえに、高ぶることのないようにするものでした。そして、そのとげの原因としてサタンの名があげられています。

現代において神様は、私たちの選択の結果として、とげが与えられ、それが私たちが霊的に成長するために用いられることを許されているのでしょうか。神様が私たちの中で働かれるためには、私たちひとりひとりが自分の弱さと無力さと向き合う必要があります。それをしてこそ、神様が働かれるために開けた存在になれるからです。

私たちには、パウロに与えられたような「素晴らしい啓示」があるわけではありません。しかし、私たちの最もこの世的なつまらない失敗でさえも、私たちは神様にそれをを用いて私たちを成長させてくださいと祈りを持って委ねることができるのです。

神様は私たちに、心を開き委ねることを強制されるお方ではありません。私たちが自分の弱さを認め、神様にお返しする時に、大いなる働きをされるのです。

讃美歌 514

祈り 主よ、私はあなたに全てを委ねます。私の人生でおこる全ての出来事が、あなたに用いられ、私が神様に造られたその姿にされる過程にあなたによって用いられますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ノーマ・プリベット

カリフォルニア州 サウザンドオークス

2月24日(金)

忘れられた真実

聖書朗読 ガラテヤ 5:7~8

兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛を持って互いに仕えなさい。ガラテヤ 5:13

あるクリスチャンの友人が家族を訪ねるために自分が育った町に行った時の話をしてくれました。幼い頃に通っていた教会の勉強会に参加した時、「ノンクリスチャンはどのようにして、私たちがクリスチャンだと知ることができるのか」という質問についての議論がされており、興味を持ったそうです。

議論が進み、いくつかの答えが出されたとき、彼女は手を上げて、「イエス様は、私たちが互いに愛し合う姿を見て、人々は私たちがイエス様の弟子であることが分かるとおっしゃったわ」と言ったそうです。そのシンプルな答えから、自然と参加者はヨハネの福音書を開き、13章35節「もしあなたがたの互いの中に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」を共に読んだそうです。

ガラテヤにある教会のように、私たちにもこのシンプルな真実を忘れてしまう時があります。今日の聖書の箇所において、パウロは私たちが愛の大切さの気づきに呼び戻しているのです。

富は翼を奪う、慰めは消え去る、
希望は枯れ果てる、でも愛は私たちと共にある
-ルー・ウオーレス

讃美歌 389

祈り 神様、あなたを父と呼べることを感謝します。イエス様、あなたは父の真の愛を私たちに見せてくれました。私たちがその愛を生きることができるよう助けてください。イエス様ありがとうございます。アーメン。

ブルース・M・ヘンダーソン
ネバダ州 カーソンシティ

2月25日(土)

私たちが楽しみにしていること

聖書朗読 エペソ 2:4~10

どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和を持って満ちし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。

ローマ 15:13

喜びは何か特別なものを私たちが待ち望んでいる時に訪れます。何かをとっても楽しみにしている時、明るく、喜びのある期待を感じます。それはもしかしたら、しばらく会えていない友人を訪ねる旅行のようなものかもしれません。楽しみのあまり、ずっとそのことを考えてしまいます。なぜでしょう。それは、そこに喜びがあるからなのです。

計画している旅行はきっと楽しいものになるでしょう。しかし、いつかは終わりがきて、家に帰ってくることとなります。家にお客様がいらして、楽しい時間を過ごしても、お客様が帰ってしまった途端、元の生活に戻るのです。しかし、キリストと今も共にあって、そして永遠に一緒にいられることを待ち望むことは、常に喜びに満ちていることではないでしょうか。

神様からの贈り物である救いによる喜びは私たちと常に共にあります。そして、私たちがそのことを常に覚えていることができれば、その圧倒的な喜びを毎日感じることができるのです。私は、これ以上の喜びを知りません！

喜びとは幸せでも感謝でもなく、
それは永遠を歓喜すること
神と和解した霊が
神の御心を行うことを望んだ時に与えられる
-シャーウッド・ワート

讃美歌 529

祈り 天の父なる神様、イエス様をありがとうございます。私たちの救いのために命を捨て下さったことを感謝します。私たちがそのことを常に感謝し、喜びに生きることであなたの栄光が私たちを通して輝きますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

クリスティン・アダムス
ニューメキシコ州 ホップズ

2月26日(日)

わたしにとって神とは？

聖書朗読 ピリピ 2:5~11

神は、その全能の力をキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえらせ、天上においてご自分の右の座に着かせて、すべての支配、権威、権力、主権の上に、また、今の世ばかりでなく、次に来る世においてもとなえられる、すべての名の上に高く置かれました。
エペソ 2:20~21

ある晩、私が貸家でぐっすり眠っている時、妻が「何か聞こえた！もしかしたら階段から息子が転げ落ちたのかもしれない」と言いました。私は、寝ぼけた頭で、ベッドから出て起きあがろうとしたその時、ベッドルームの扉が開いて、知らない女性が一人立っているのが見えたのです！冷静を保って力強く声を出そうとした時、囁きよりは少し大きな変な鳴き声のような声で私は「誰だ?!」と言いました。その時はとても怯えていて変な声が出てしまったのです。今となっては笑い話ですが、その時は笑えるような状況ではなかったのです。

私たちは危険にあったのではありませんでした。その女性は、その家に以前住んでいた彼女の叔母が引っ越した事を知らずに、持っていた合鍵で家に入ってきたのでした。彼女も私たちと同じくらいびっくりしたことでしょう。

私たちが主と会うその日、私たちの口から「誰だ?」という声が出ることはありません。その日、「イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるものすべてが、ひざをかがめ、すべての口が「イエス・キリストは主である」と告白して、父なる神がほめたたえられる」のです。私たちは、神様にすぐ気づき、そして、礼拝をするのです。

讃美歌 162

祈り 主よ、私たちの主よ、あなたの名はこの地においてなんと偉大なのでしょうか。私たちがイエス様の御名を宣べ伝える中であなたの御名を崇めることができますように。イエス様の聖なる御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ダニー・メイズ
テキサス州 アマリロ